

作文

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、開かないこと。
- 二、問題は、二ページにわたって印刷してあります。
- 三、解答は、解答用紙に記入し、メモや下書きは推敲用紙を用いること。解答用紙、推敲用紙のいずれにも受験番号・氏名をもれなく、正確に記入すること。
- 四、問題冊子の表紙にも、受験番号・氏名を必ず記入すること。

受験番号

氏名

次の文章を読み、「ほんとうの正義」のさしているところをまとめ、それをふまえてあなたにとっての「ほんとうの正義」とはどんなものか、例をあげ、そう考えた理由もしめしながら四百字以上五百字以内で説明しなさい。なお、例については実際に経験したことでも想像したこと、あるいはメディアなどで知ったことでもかまいません。

※正義 正しいすじみち。人がふみ行うべき正しい道（『広辞苑』）

日本と中国での戦争に、兵隊として戦地である中国大陸に送られた、やなせたかし（文章中では「たかし」）。やがて日本は敗戦し、中国大陸から生まれ育った高知へと帰ったたかしは、自分の戦った戦争の意味を日々考えつづけていた。

考えつづけていたある日、たかしは廃品回収のどちゅうの道ばたで、おさない兄弟が、おにぎりをわけあって食べているのを見ました。服はよごれていましたが、ふたりとも、しあわせそうに笑っていました。

その笑顔を見て、たかしははっと気がつきました。

（ほんとうの正義とは、おなががすいている人に、食べものをわけてあげることだ！）

戦争は、人をころすことですが、食べものをわけてあげるとは、人を生かすことです。命をおうえんすることです。

命がたいせつであることは、世界じゅうどこへいっても、また、いつの時代でもかわりません。

それなら、飢えている人を助けることは、けっしてひっくりかえらない、本当の正義のはずです。

（そうだ、ぼくはだれよりそのことを知っているじゃないか。戦争中、食べものがなくて、ぼくはほんとうに苦しかった。だれかに助けてほしかった。いまでも、世界じゅうに戦争をしている国があつて、あのときのぼくよりもっと、苦しい思いをしている人がいる。飢えて死んでしまう子どももいる。その人たちを助けるのは、国に関係なく、正しいことのはずだ）

この考え方は、だれかににていると思いませんか？

そう、アンパンマンです。

こまっている人のところに飛んできて、助けてくれる。

自分の顔を食わせて、元気と勇気をあたえてくれる。

そんなアンパンマンのすがたが思いうかびませんか？

このとき、まだアンパンマンは誕生していませんでした。たかしがアンパンマンの物語をかくのは、もっとうつと先のことです。

でも、ほんとうの正義について考えたこのときからずっと、アンパンマンはたかしの心の中にいました。そして、この世に生まれるときをまっていたのです。

（梯久美子『勇気の花がひらくとき やなせたかしとアンパンマンの物語』）